

ことば



令和6年12月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室 75-0379



いっしょに…



寒さが少しずつ厳しくなってきました。『子どもは風の子』と昔から言われているように、子どもたちは寒さを吹き飛ばす勢いで思い切り体を動かしています。

最近通級の運動をする際には、一緒にブランコに乗る、回転する、一緒にキャッチボールをする、一緒にサーキットをまわる、一緒に棒倒しをする等、友達と一緒に何かをすることが増えてきました。子どもたちが自ら選び、友達と活動したいという思いから「一緒に〇〇しよ〜。」と誘ったり、自然と活動していたりしています。友達に誘われた時に1人の活動を楽しみたい時は「今〇〇しているからあとで〜」等、必ず自分なりの返事をするようにしています。一緒に活動することで、よりダイナミックな活動ができたり、自分では気が付かなかった活動を思いついたりするとともに、様々なコミュニケーションの力にもつながっています。何より、楽しさを共有でき、安心感も生まれます。

友達と活動することのよさを大切に、今後も子どもたちの自主的な活動を見守っていきたいと思います。




12月の行事予定



- 4日(水) ことばの相談日
- 9日(月) 舞鶴市教育相談
- 11日(水) ことばの相談日
- 16日(月) 親の会大掃除
- 20日(金) 出張のため午後からの指導はありません。
- 23日(月) ことばの相談日



ことばを育てる親の会
大掃除&交流会
日時：R6年12月16日(月)
9:30~11:00頃 
場所：余内小学校ことばの教室

お忙しい中ですが、掃除後交流会も考えています。ぜひ参加してくださいね。
途中参加、途中退室OKです。





納得して決める 自分で選ぶとる



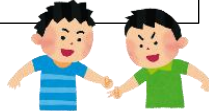
「係活動や委員会、クラブを決める。」「おやつはチョコレートかクッキーかを決める。」など、物事を決める場面は、生活の中で数多くあります。希望が他の人と重なった場合、じゃんけんで決めるという方法を取ることが多くあります。じゃんけんには、その場ですぐに決められるというメリットがあります。しかし、じゃんけんの結果を受け入れがたかく、じゃんけんという行為そのものが辛いという場合もあります。子どもには納得して物事を決める経験が必要であると考えます。

例えば…

第2希望、第3希望を考えておく

第1希望がもし通らなかった場合のことを想定し、第2希望、第3希望を考えておく。

第1希望以外に目が向くことで、「第2希望もいいな。第1希望は他の人に譲ろうかな。」という気持ちが芽生えることもある。



理由を伝え合う



委員会を決める場面で…

前期にやりたかったけれど、できなかった。
他の委員会では、苦手なことがあるけれど、この委員会なら、自分の得意なことが生かせると思う。

互いの意見を聞いた上で、じゃんけんをする、譲り合うなどの方法を取る。

話し合い、納得して決めた経験を通して、様々な決め方に対応できるようになったり、自分の思いだけでなく、相手のことも考えて決める大切さに気付いたり、しなやかな力が育っていきます。話し合っても、みんなが納得する結果にはならないかもしれませんが、互いの言い分を聞き、折り合いをつけられるところを見つけていくことが大切です。話し合っていて決める中で、何かを選択するときは、自分に様々な思いがあるように相手も思いを持って選んでいることに気づいていきます。そして、自分にとって重要でないことが他の人にとっては重要である、またその逆もあるなど様々な価値観に気づけるようになります。最終的にじゃんけんで決めることになっても、それまでに自分の思いを聞いてもらえることで、じゃんけんへの抵抗感は少なくなっていくのではないのでしょうか。



「何かを選ぶ」ためには、多くのエネルギーが必要なので、受け身で「何でもいいよ。」と言っている場合があります。いつも受け身でいると、自分で考えることなく物事が進んでいってしまいます。いつも与えられたことだけ、決められたことだけしていると、いざ自分で考えて、選ばなければならない時に、思っている以上のエネルギーを使うこととなります。そのことで、負担を感じ、ますます自分で選択できなくなる可能性もあります。

図書室で借りる本を選ぶ、おやつを選ぶ、着る服を選ぶなど、その人にとって負担の少ないものを選択する経験を日常の中に取り入れ、自分で選ぶとる力、自分の思いを意思表示する力を身に付けていくことが大切です。

